



さくらんぼ

仏教婦人会連盟
寺院女性会連盟

合同機関紙

仏婦として、寺院女性として

新潟教区寺院女性会連盟会長 乙山由起子

寺院女性で教区の活動に関わるのは二回目ですが、思いがけず今回は会長を引き受ける事になりました。以前は寺族婦人会という名称でしたが、会員の意見要望から現在の名称へと変更となり、それに伴う規約作りに取り組んだことが思い出されます。

当時も研修会の参加者が少ないという課題がありました。内容や日程を検討して、少しでも参加者が増えることを期待したものです。その頃は、仏教婦人會も殆ど坊守が役員をしていたという状況で、私も教区で仏婦と寺院女性會の両方を兼任していました。二回ほど仏婦の総連盟總會に参加した時、他教区の仏婦では殆どご門徒が中心となつて会を運営し、様々な取り組みをしていることを知って、新潟教区もご門徒が主体となつて運営される「仏教婦人會」にしていかなければならぬと気付かされました。

その後、寺院女性会は仏教婦人會のサポート役として協力していくことが、寺院女性會の規約に盛り込まれました。移行期間を経て、初めは寺院女性とご門徒が半々だった教区の仏教婦人會も、現在はすべてご門徒が役員をとる体制になりました。

今年度は、十二月六日に仏教婦人會連盟と寺院女性會連盟の合同研修会を開催しました。予想を超える参加者を嬉しく思う反面、合同研修会の内容として相応しかったのか課題が残りました。

今年の夏、自坊で巻組のイベント、キッズサンガ「お寺で夏祭り」

新潟教区寺院女性会連盟・仏教婦人會連盟合同研修会



三味線演奏者 小林史佳 氏



役員と楽しく会話中!

を開催した時、開会式で組長から参加した子ども達に向けて短いお話がありました。研修会でも講演の前にもう少し法話を聴聞する時間を設定しても良かったのではないかと考えています。『仏教の話は耳に届きにくい』と敬遠されがちな今、仏教婦人として、又寺院女性として、参加して良かったと思う聴聞の場が必要であり、そういう研修会を企画運営していくことが次年度委員の役割となつてくと思われれます。

発行所:

新潟教区教務所

長岡市与板町

与板乙 4356

Tel (0258) 72-2120

F (0258) 72-2536



平成25年度活動報告

与板組

★与板組寺院女性会

- ① 8月19日(月) 会場：浄秀寺
キッズサンガへの参画
そうめん流し等活動への参加
- ② 9月11日(水)
日帰り旅行研修会
親鸞聖人ゆかりの越後七不思議「西方寺」
「考順寺」参詣

- ③ 12月2日(月) 親睦会(和島パーク)
長岡組と合同で親睦を深めた

★与板組仏教女性会

- ① 7月20日(土) 会場：本願寺新潟別院
しおり(押し花)作り
- ② 8月19日(月) 会場：浄秀寺
キッズサンガへの参画
そうめん流し等活動への参加
- ③ 2月23日(日) 会場：本願寺新潟別院
消しゴムはんこ作り

長岡組

★長岡組寺院女性会

- ① 9月11日(水)
日帰り旅行研修会
親鸞聖人ゆかりの越後七不思議「西方寺」
「考順寺」参詣

与板組と合同で親睦を深めた

- ② ボランティア活動 年間10回
タオル・ビニール袋たたみ、縫い物等

ボランティア懇親会 12月6日(木)

- ③ リサイクル活動 12月17日(火)
使用済みローソクの収集

【吉運堂さん経由NPO法人介して
アフガニスタンへ】

- ④ 法話会

春季：6月4日(火) 会場：西福寺

講師 藤島秀天師(富山教区布教使)

秋季：11月12日(火) 会場：西福寺

講師 関口直生(とまり樹長岡管理人)

★長岡組仏教婦人会

- ① 7月20日(土) 会場：長永寺
長岡組仏教婦人会開法会

テーマ「生死を超える道」

元上組

★今年度は諸事情により活動ができませんでした。

三条組

★三条組みのり会(仏教婦人会・寺院女性会)

- ① 研修会 6月6日(木)

会場：MEDIA SHIP 日報ホール
新潟親鸞学会第10回大会講演会・シンポジウムに参加

講演会：親鸞と越後、および越後から関東へ
シンポジウム：親鸞となむの大地

- ② 26年度教区仏婦大会打合せ会

越後と佐渡の精神的風土展

12月17日(火) 会場：三条鍛冶道場

- ③ 26年度教区仏婦大会打合せ会
2月24日(月)

第36回新潟教区仏教婦人大会打合せ会

「11月29日(土) 開催予定」

地藏堂組

★今年度は諸事情により活動ができませんでした。

新潟組

★新潟組寺院女性会

★新潟組仏教女性会

- ① 10月1日(火) 2日(水)
合同研修旅行「東日本大震災の福島を訪ねて」

- ② 1月21日(火) 会場：光林寺
合同研修会「そとつながる、ホッがつたわる」(結ぶ絆から広がる縁へ)

講師：露の団 師

巻組

★巻組寺院女性会

- ① 研修会 6月12日(水)
震災支援の話とコーラス練習

- ② ビハークラ法話会でコーラス発表
1月31日(金)

★巻組仏教婦人会

- ① 研修会 7月10日(水)
被災地ボランティアの話

- ② 国府別院と聖人ゆかりの地団体旅行
10月17日(木)

キッズサンガに参加して

与板組 隆泉寺門徒 長谷川和子

昨年八月一九日、浄秀寺様（長岡市大荒戸町）を会場にキッズサンガが行われました。

孫（小三、二年 男）二人は二回目で私は初めての参加、朝からお天気で少しテンションが上がっていました。友人の車で会場に着くと子ども達でにぎわっていました。最初に挨拶正座をし、仏様と向き合い少し緊張の時間が流れました。普段の生活では味わう事のない体験で、素晴らしいなあと思えばいいところがありました。

「何が楽しかったかな？」と訪ねると、「一番は流しソーメン、スイカ」「フオークとスプーン作り」とのこと、私もコースター作りに夢中でした。物作りの難しさを感じながらも完成時の喜びは大きかったです。

美味しい食事をいただき、幸せ一杯の顔をしていました。役員の皆様、有難うございました。感謝申しあげます。来年度も宜しくお願い致します。



割りばし鉄砲作り！



流しそうめん！

元上組仏婦・寺院女性よりのご案内

感動を呼ぶ「さわやか講話会」

元上組では門推協協主管のもと、毎年七月初めに「さわやか講話会」を開催しており、今年で十四回を迎えました。講師先生の話題性に満ちた講演にはいつも大きな感動を覚えます。

今年、新潟歴史博物館において四月二十六日から六月八日まで開催される『親鸞となむの大地展』の意義を、より深く理解するためのプレイベントとして、次のように行うことになりました。皆さんどうぞ連れ添っておいでください。



◎日時 二〇一四年四月五日（土）
午後二時～四時

◎会場 専徳寺本堂（長岡市下条町）

◎テーマ 親鸞聖人七五〇回大遠忌

特別展「親鸞となむの大地」に向けて

◎講師 ★廣澤 憲隆 先生

（新潟親鸞学会副会長 浄土真宗仏光寺派瑞林寺）

★大溪 太郎 先生

（展示資料調査事務局長）
「親鸞となむの大地に向けて」
— 展示資料の見どころ —

嬉しい「押し花」体験

元上組 託念寺坊守 鷺尾吉子

元上組寺院女性会では、お寺が薰り高い文化の発信基地でありたいという願いを込めて、寺院女性の研修会を行っています。お茶の作法を勉強したり、お念珠の作り方を教えていただいたりしました。今年度は専徳寺様のお勧めで、「押し花」を体験させていただくことになりました。

私はとっても不器用。ピンセットで小さな可憐な押し花をつまみ、台紙に置いていく。それだけでも手がふるえるのに、その上どんなデザインにしたらいいの？「この花も使いたいし、あの葉っぱも素敵だから使っちゃおう。」全体のバランスを考えると何が足りない？などと、講師の先生やお仲間にも助けをいただきながら、やっとわが作品は出来上がったのであります。「やっつたり！」額に入れるとさらに立派に見えました。これって、私が作った世界にただ一つの作品なんだと思うと嬉しくなりました。皆さんのお陰です。ありがとうございます。

その後のティータイムはおしゃべりで盛り上がりました。お仲間がいるというのは有り難いことです。



親鸞聖人ゆかりの地を参拝して

巻組 善了寺門徒 吉原トヨ

巻組仏教婦人会は、平成二十五年十月十七日に「親鸞聖人ゆかりの地・研修会」日帰り旅行を計画いたしました。当初の目標は四十名でしたが、結果は予想をはるかに上回る七十二名の申込みがあり、事務局をはじめ三役の私達もびっくり仰天、嬉しい限りでした。

この喜びを何かの形に現そうと、評議員の大川さんの提案で「プチバック」を作って皆さんにお配りする事にしました。会長の藤由さんと大川さんのお宅に集まり、作り方の指導を受けて作業開始です。「プチバック」とは折り紙で作る小さな紙バックです。その中に飴玉を入れて感謝のお礼です。玉手箱の中には次々と出来上がったバックが並び、彩も鮮やかでなかなかの出来映えに三人とも大満足。お渡しをする時の皆さんの表情を想像するだけで、幸せを感じる至福の一時でした。

当日は天候にも恵まれ、二台のバスは巻瀉東インターで合流し、目的地に向かって出発進行！早速心を込めて作った「お・も・て・な・し」をお配りした所、「まあ！可愛い」と皆さん満面の笑顔で受け取ってください、作って良かったと思えました。

刈り入れの終わった田園風景を眺めながらバスは進みます。国府別院では、親鸞聖人にまつわるお話や越後七不思議の一つでもある「片葉の葦の伝説」などをお聞きしました。恵信尼公廟所は、平成二十三年四月に建立された立派な御堂を参拝し、恵信尼公さま会館では「こぶし合唱団」の皆様が美しい歌声で私達を迎えてくださり、とても感動いたしました。バスの中では、ガイドさんの軽妙な話術で笑いあり、時には頭の体操ありの楽しい研修旅行の一日でした。

この日の機縁に会えるよろこび、お念仏のみ教えを頂く有難さに、手を合わせる思いでありました。